

Ⅵ 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）

1. 推薦要件

法 学 部	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2023年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2023年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 推薦人員は、1校につき4人までとします。
経 済 学 部	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2023年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2023年3月に修了見込みの者 (2) 人物的に優れ、勉学意欲が旺盛であり、調査書の「国語」・「地理歴史」・「公民」・「数学」・「理科」・「外国語」の6教科のうち、4教科^{〔注〕}の学習成績の状況が4.0以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 〔注〕類似する学習内容の教科を推薦要件の教科に含めたい場合は、個別に判断しますので教務課学務第二係（経済学部担当）までお問い合わせください。 推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。
推 薦 Ⅱ B	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校の農業、水産、工業、商業、家庭、厚生、商船、美術、音楽など本学が専門教育を主とすると認める学科^{〔注1〕}を2023年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2023年3月に修了見込みの者 (2) 人物的に優れ、勉学意欲が旺盛であり、調査書の「国語」・「地理歴史」・「公民」・「数学」・「理科」・「外国語」の6教科のうち、4教科^{〔注2、注3〕}の学習成績の状況が4.0以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 〔注1〕「本学が専門教育を主とすると認める学科」には、専門教育に関する科目を主として履修する普通科の商業コース、総合学科の商業系列などを含む。 〔注2〕類似する学習内容の教科を推薦要件の教科に含めたい場合は、個別に判断しますので教務課学務第二係（経済学部担当）までお問い合わせください。 〔注3〕本学が専門教育を主とすると認める学科については、これらのうち1教科を専門教育に係る教科に読み替えても良い。 推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。

医 学 部 医 学 科	次の各号の要件すべてに該当する者であって、人物が優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 高等学校を2021年4月以降に卒業した者及び2023年3月に卒業見込みの者 (2) 高等学校における学習成績が優秀で、かつ、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (3) 高等学校において、物理、化学及び生物（理数科等にあつては、理数物理、理数化学及び理数生物）のうちから2科目以上、数学Ⅲ、数学A及び数学B（理数科等にあつては、理数数学Ⅰ及び理数数学Ⅱ）並びにコミュニケーション英語Ⅲ及び英語表現Ⅱを履修（見込みを含む。）した者 ただし、教育課程の編成等により履修内容が上記科目区分によらない場合、また外国の高等学校での取得単位を高等学校の卒業要件にしている者については、履修科目について弾力的に取り扱う余地がありますので、高等学校長を通じて必ず2022年9月30日（金）までに問い合わせてください。所定の期日までに問い合わせのない場合は、出願を受理しません。 (4) 合格した場合は、入学を確約できる者 【推薦人員】 卒業見込者：1校につき8人までとします。 既 卒 者：1校につき1人までとします。ただし、香川県内の高等学校については、1校につき7人までとします。 「地域枠（学校推薦）」は募集人員5人となるよう調整中です。 人数については予定であり、変更があり得ます。募集人員が確定次第、本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/）ですみやかに公表します。 詳細は、2023年度学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項を参照してください。 前記、医学部医学科の要件すべてに該当し、かつ、次の要件すべてに該当する者であって、人物が優秀で、将来、香川県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校長が責任をもって推薦できる者に限ります。 なお、地域枠（学校推薦）に出願する場合には、通常の推薦枠と併せて出願することができます。 (1) 香川県内の高等学校を2021年4月以降に卒業した者及び2023年3月に卒業見込みの者 (2) 「香川県医学生修学資金」※の貸付けを受ける者 (3) 将来、県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（9年間）、医師の業務に従事する意志のある者 ※「香川県医学生修学資金」の詳細は、香川県ホームページ（https://www.pref.kagawa.lg.jp/）から「香川県医学生修学資金貸付」で検索してください。
--------------------	--

創 造 工 学 部	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2023年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2023年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉強意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 <u>推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。</u>
農 学 部	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2022年3月に卒業した者及び2023年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2023年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉強意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 <u>推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。</u>
共 通	(注) ① 高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。 ② 「2023年3月に卒業見込みの者」には、「2022年4月以降に卒業した者」を含みます。

2. 出願上の注意事項

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜，免除する学校推薦型選抜を含めて）への出願は，1つの大学・学部に限られます。
- (2) 法学部「学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）」は，法学部「学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）」に不合格になった場合でも，出願することができます（他学部出願者は不可）。
- (3) 経済学部「学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）」は，経済学部「学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜）」に不合格になった場合でも，出願することができます（他学部出願者は不可）。
- (4) この学校推薦型選抜に不合格になった場合に備えて，前期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，後期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，合計3つの大学・学部に出願することができます。

3. 選抜方法

〔1〕 大学入学共通テストの利用教科・科目等

大学入学共通テストの利用教科・科目及び利用方法は，別表（70～71ページ）のとおりです。

大学入学共通テストにおいて，「地理歴史」及び「公民」並びに「理科②」の試験時間に2科目受験する場合は，解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」，後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。

〔2〕 個別学力検査（医学部医学科のみ）

個別学力検査の選抜方法は，別表（70～71ページ）のとおりです。

〔3〕 大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等は，別表（70～71ページ）のとおりです。

〔4〕 各学部の選抜方法等について

【法 学 部】

- ・ 調査書，志望理由書及び大学入学共通テストの総合点により選抜します。
- ・ 大学入学共通テストで，数学，外国語の2教科を受験している場合には，高得点の教科の成績を用います。
- ・ 大学入学共通テストで『英語』を選択した場合は，リーディング及びリスニングの成績を利用します。ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，リーディングのみとします。
- ・ 調査書については，地歴・公民の成績を重視し，さらに学業以外の活動についても評価します。

【経済学部】

- ・ 調査書（学習成績の状況は出願要件であり特記事項のみを評価します。）及び大学入学共通テストの総合点により選抜します。
- ・ 大学入学共通テストで『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。
- ・ 「調査書の特記事項」

調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるもののことです。文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。なお、文化活動及びスポーツ活動については、主催団体名と個人種目か団体種目かの別を明記してください。また、検定試験については、主催団体名を明記してください。評価にあたっては、最もよい一項目のみを対象とし、複数の項目を加算する方式は採りません。

なお、上記の特記事項の内容を一覧にした「資格及び活動歴調査票」の提出も併せて求めます。

【医学部医学科】

- ・ 学校長から提出される推薦書・調査書の内容及び本学部が実施する小論文・面接の結果を総合的に判断し、大学入学共通テストの成績を参考にして合格者を決定します。
- ・ 大学入学共通テストの地歴及び公民について、2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
- ・ 大学入学共通テストの『英語』は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

《合否判定基準》

ア 小論文と面接評価の総合点で順位を決定します。

ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

イ 本学が指定した大学入学共通テストの成績が本学の定める基準に満たない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。また、面接の結果をもって総合点の如何にかかわらず不合格となることがあります。

ウ 地域枠（学校推薦）にあっては、上記に加え香川県による面接の結果を参考として合否を決定します（募集については調整中）。

※上記の合否判定基準に関する個別の問い合わせについては、応じられません。

① 小論文

小論文は、単なる作文力のテストではなく、学校長から提出される推薦書及び調査書の記載内容等を補完するとともに、大学入学共通テストではみることができない論理的思考力、倫理観、社会性等をみるために行います。

小論文の出題は、英語による問題（小論文Ⅰ）と日本語による理科系の論述式問題（小論文Ⅱ）とします。なお、小論文Ⅱは出題3題のうち2題を選択して解答します。

② 面接

面接は、医師及び医学研究者となるにふさわしい適性をみるために行います。なお、志望理由書、推薦書、調査書を面接の重要な資料として用います。地域枠（学校推薦）にあっては、通常の面接に加え、香川県による面接があります（募集については調整中）。

【創造工学部】

- ・ 調査書、志望理由書及び大学入学共通テストの総合点により選抜します。
- ・ 大学入学共通テストの理科について、基礎を付さない科目から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
- ・ 大学入学共通テストで『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。
- ・ 調査書については、勉学状況、特記事項を評価します。
- ・ 「調査書の特記事項」

調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるもののことです。生徒会活動、クラブ活動、ボランティア活動、文化活動、スポーツ活動などにおいて実績を挙げているもの、また、優れた特技及び英語検定、TOEIC、TOEFL、情報技術検定、電気工事士などの資格を取得しているものを評価します。

【農学部】

- ・ 調査書、志望理由書及び大学入学共通テストの総合点により選抜します。推薦書は出願要件書類として扱います。
- ・ 大学入学共通テストで『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。
- ・ 調査書については、修学状況、特記事項を評価します。特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」の中で、実績を収めている学内・学外での活動（文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動など）、科学的な研究活動、資格・検定等（英語検定など）です。

別表 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査について

学部・学科等名			大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
法学部	(昼間コース) 法学科	国	『国語』	必須		調査書・志望理由書
		数	(『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『簿・会』、『情報』) から1科目 } 2科目 } から1教科			
			外	(『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』) から1科目 [2教科3科目(数学の場合)又は2教科2科目(外国語の場合)]		
経済学部 (推薦ⅡA・ 推薦ⅡB)	(昼間コース) 経済学科	国	『国語』	必須		調査書
		数	(『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『簿・会』、『情報』) から1科目			
		外	(『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』) から1科目 [3教科4科目]			
医学部	医学科	国	『国語』	必須	その他	小論文、面接 (志望理由書、 推薦書、調査書 を用いる)
		地歴	(『世B』、『日B』、『地理B』) から1科目			
		公民	(『現社』、『倫』、『政経』、『倫・政経』) から1科目			
		数	『数Ⅰ・数A』 必須 『数Ⅱ・数B』 必須			
		理	(『物』、『化』、『生』) から2科目			
		外	『英』 必須 [5教科7科目]			
創造工学部	創造工学科	数	(『数Ⅰ』、『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』、『数Ⅱ・数B』、『情報』) から1科目		調査書・志望理由書	
		理	(『物』、『化』、『生』、『地学』) から1科目			
		外	(『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』) から1科目 [3教科4科目]			
農学部	応用生物科学科	理	(『物』、『化』、『生』、『地学』) から1科目		提出書類	
		外	(『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』) から1科目 [2教科2科目]			

(注)【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

《共通》

「 」内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、「 」内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目、『簿・会』・・・1科目)

《法学部》

1 『簿記・会計』、『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。

2 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

3 数学、外国語の2教科とも受験している場合には、高得点の教科の成績を用います。

《経済学部》

1 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

《医学部》

1 地歴及び公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。

2 外国語『英語』は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

《創造工学部》

1 理科について、基礎を付さない科目から2科目を受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

2 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

《農学部》

1 理科について基礎を付さない科目から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。

2 外国語で『英語』を選択した場合は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。

学部	大学入学共通テストの配点等								個別学力検査の配点			配点 合計				
	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科		外国語	大学入学共通 テスト配点計	小論文	調査書・ 志望理由書		個別学力検査 配点計			
法学部	200			①	②	①		②		* 200	400	60	60	460		
				*100	*100											
				(2 科目)												
経済学部	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科		外国語	大学入学共通 テスト配点計	小論文	調査書	個別学力検査 配点計	320			
	100			①	②	①		②		100	300	20		20		
				50	50											
医学部	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科		外国語	大学入学共通 テスト配点計	小論文	面 接	個別学力検査 配点計	450			
	★	★	★	★	①	②	①		②		★	★		300	150	450
									★	★						
					(2 科目)											
創造工学部	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科		外国語	大学入学共通 テスト配点計	小論文	調査書・ 志望理由書	個別学力検査 配点計	700			
				①	②	①		②		200	600	100		100		
				100	100			200								
						(1 科目)										
農学部	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科		外国語	大学入学共通 テスト配点計	小論文	提出書類	個別学力検査 配点計	600			
				①	②	①		②		300	500	100		100		
								200								
				(1 科目)												

(注)【大学入学共通テストの配点等】欄

《共 通》

1 *印は選択教科・科目を表します。

2 数学及び理科の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。

《法学部》

外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。

《経済学部》

外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「80点」、リスニング「20点」の計「100点」とします。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「100点」とします。

《医学部医学科》

医学部学校推薦型選抜に課している大学入学共通テスト（★印）は高等学校における基礎学力の修得度を見るために利用します。

《創造工学部》

外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。

《農学部》

外国語で『英語』を選択した場合の配点は、リーディング「240点」、リスニング「60点」の計「300点」とします。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「300点」とします。